

開通を前に踏みしめる バイパスウォーキング

国土交通省岩手河川国道事務所が建設を進めてきた国道4号平泉バイパスが、8月5日に全線開通します。これに先立ち7月26日、車両が通行する前のバイパスを歩こうと「バイパスウォーキング」が行われました。参加者約200人は、待望していた道路の完成を喜び、バイパスからの真新しい眺めを楽しみながら、往復6.8^{キロ}の道のりを歩きました。

同バイパスは、同町中心部を東側に迂回する総延長5.8^{キロ}で、昭和56年度に事業着手しました。今回は、高館橋の北側3.4^{キロ}が開通し、5日14時から一般車両が通行できます。



平泉駅構内に12種200本 鉄道沿線森づくり植樹

JR平泉駅構内で7月26日、JR東日本盛岡支社主催の「鉄道沿線からの森づくり」が行われました。JRグループの関係者と地域住民ら約90人が、シダレザクラなど12種類計200本を植樹しました。

高橋町長、中井雅彦同支社長らによるシダレザクラの記念植樹に続き、参加者がヤマブキ、ユキヤナギなどを植えました。

植樹活動は同支社が、環境に優しい企業を目指して平成4年から実施。今回、初めて当町で行われました。



親子で楽しい夜を過ごす 保育所、幼稚園で夕涼み会

長島保育所で7月18日、平泉保育所と平泉幼稚園で26日、夕涼み会が行われました。

このうち長島保育所では、金魚すくいやヨーヨー釣り、当てくじなどのお店が園庭に並び、子どもたちで大盛況。夜空の下でキャンプファイヤーやダンスなどを親子で仲良く楽しみました。



華やかに練習成果披露 平泉中生徒が神楽舞う

選択学習で達谷窟毘沙門神楽を学ぶ平泉中2、3年生徒が7月17日、1学期の練習の成果をJR平泉駅前前で披露しました。指導者の照井幸男さん(4区)らの囃子に合わせ華やかな舞を演じました。達谷窟毘沙門神楽の習得は郷土学習の一環。今後も同神楽の学習に力が注がれます。

44の演目華やかに 小島神社の例大祭



小島神社(通称・山王様)の例大祭が7月26日と27日の両日、同神社境内で盛大に開催されました。

五穀豊じょうや家内安全などを祈願する今年の例大祭では、担当の平石沢地区の人たちが、44の多彩な演目を2日間にわたって奉納。春から懸命に積んできたけいこの成果を華やかに披露しました。

詰め掛けた延べ1200人の観客は、出演者の芸達者ぶりに盛んな拍手、声援を送っていました。



歴史と文化を楽しく学ぶ わくわく平泉学スクール

町内の小・中学生が平泉の歴史と文化を学ぶ「わくわく平泉学スクール」の第2回講座が6月25日、7月2、8日の3日間、毛越寺や無量光院跡などで開かれました。

今回は平泉中の1年生が、毛越寺で座禅、無量光院跡で発掘作業、役場で写経を体験。このうち発掘体験では、町文化財調査員の指導の下、かわらけの破片などを発掘。平安時代の平泉に思いをはせながら、歴史と文化を楽しく学んでいました。



平泉の浄土思想を確認 20年度平泉文化史講座

平泉郷土館が主催する20年度平泉文化史講座の第2回講座が7月12日、同館で開かれました。

同講座の本年度テーマは「浄土」。平泉の浄土思想を確認し、周囲に伝えようと開催されています。第2回講座では、浅井和春青山学院大教授が「浄土空間に住まう仏たち」と題して講義。奥州藤原氏の浄土思想と、まつわる仏像の数々について詳しく解説しました。第3回講座は8月23日、13時30分から同館で開かれます。